

# 公益財団法人大学基準協会

## 単位制度の実質化に関するアンケート調査 粗集計結果

2023年11月

- 本粗集計結果は、2023年9月から10月にかけて実施した「単位制度の実質化に関するアンケート調査」について、記述式回答を除く結果をまとめたものです。
- 下記の方針により、結果を集計しています。
  - ①. 重複回答及び今回の調査対象外である短期大学からの回答は削除。
  - ②. 年、週数や単位数などを回答する設問は、回答の平均値を記載（一部は中央値も記載）。
  - ③. 無回答その他無効回答があるものは、それらを除いて集計（設問文に【\*】を付したものの）。
  - ④. その他、必要がある場合は設問ごとに集計方針等を注記。

### <基本情報>

#### i. 対象大学数、回答数及び回答率

対象数	784
回答数	490
回答率	62.5%

#### ii. 設置形態の別

	回答数	送付総数	回答率 <sup>※1</sup>	回答分布 <sup>※2</sup>
国立大学	63	82	76.8%	12.9%
公立大学	64	97	66.0%	13.1%
私立大学 <sup>※3</sup>	363	605	60.0%	74.1%
合計	490	784	62.5%	100.0%

※1 当該設置形態中の回答割合

※2 全回答大学に対する割合

※3 放送大学を含む。

#### iii. 大学/専門職大学別

	回答数	送付総数	回答率 <sup>※1</sup>	回答分布 <sup>※2</sup>
大学	487	769	63.3%	99.4%
専門職大学	3	15	20.0%	0.6%
合計	490	784	62.5%	100.0%

※1 当該大学種中の回答割合

※2 全回答大学に対する割合

#### iv. 会員校/非会員校別

	回答数	送付総数	回答率※1	回答分布※2
正会員大学	246	293	84.0%	50.2%
賛助会員大学	72	117	61.5%	14.7%
未入会大学	172	374	46.0%	35.1%
合計	490	784	62.5%	100.0%

※1 当該会員区分中の回答割合

※2 全回答大学に対する割合

#### v. 設置学部数別

	回答数	回答分布
1学部	146	29.8%
2学部	88	18.0%
3学部以上	256	52.2%
合計	490	100.0%

#### vi. 医学部・歯学部設置の有無別

	回答数	送付総数	回答率※1	回答分布※2
医学部又は歯学部を持つ大学	66	94	70.2%	13.5%
それ以外の大学	424	690	61.4%	86.5%
合計	490	784	62.5%	100.0%

※1 設置大学中の回答割合

※2 全回答大学に対する割合

## ＜学事暦・授業時間について＞

問 1 現行の学事暦についてうかがいます。

1 学年を何学期に分割していますか（数字を記入）。

1 学年を	2 学期：440 (89.8%), 3 学期：10 (2.0%) 4 学期：39 (8.0%), 5 学期：1 (0.2%)	学期
-------	---	----

それぞれ何週間にわたっていますか（試験期間を含む。該当の欄に数字を記入）※<sup>1</sup> ※<sup>2</sup>。

<学期制別>

2 学期制

第 1 学期目	第 2 学期目	第 3 学期目	第 4 学期目	第 5 学期目
16.3 週間	16.5 週間	- 週間	- 週間	- 週間

3 学期制

第 1 学期目	第 2 学期目	第 3 学期目	第 4 学期目	第 5 学期目
14.4 週間	14.7 週間	8.9 週間	- 週間	- 週間

4 学期制

第 1 学期目	第 2 学期目	第 3 学期目	第 4 学期目	第 5 学期目
8.7 週間	7.9 週間	8.5 週間	7.6 週間	- 週間

5 学期制

第 1 学期目	第 2 学期目	第 3 学期目	第 4 学期目	第 5 学期目
7.0 週間	7.0 週間	7.0 週間	7.0 週間	5.0 週間

学部によって異なる場合、その他学事暦について補足する点があれば記入してください。

省略
----

※<sup>1</sup> 週数の合計が 52 を超えるものは、無効回答として集計。

※<sup>2</sup> 例えば、学期を 2 学期に分割していると回答しているものの、学期ごとの週数を第 3 学期目等にも記入している場合は、第 3 学期目等に記入された数値を除外して 2 学期制のところに集計値を記載。

問 2 授業時間についてうかがいます。1 授業時間は何分ですか<sup>[\*]</sup> ※。

講義・演習などの標準的な科目	89.6	分
上記以外（実験・実習・実技・語学などの科目）	97.2	分

授業時間について、補足する点があれば記入してください。

省略
----

※ 1800 分及び 3600 分という回答は無効扱い。

問3 1単位に想定される標準的な授業時間(試験を含む)は合計で何分ですか。

1単位の授業時間	1112.7	分
----------	--------	---

想定することが難しい場合は、その理由

省略

問4 現行の学事暦・授業時間となったのは何年度ですか<sup>[\*]</sup>。

現行の制度の開始年	平均 2007, 中央 2011	年度(西暦)から
-----------	------------------	----------

その際にどのような点が変更されましたか<sup>[\*]</sup>。

	変更なし	増加	削減
学期の数	389(87.0%)	44(9.8%)	14(3.1%)
学期あたり 授業回数	254(57.0%)	113(25.3%)	79(17.7%)
授業時間	329(73.6%)	90(20.1%)	28(6.3%)

増加、削減以外の変更があれば記入してください。

省略

変更の理由は何でしたか。

	あてはまらない	ある程度 あてはまる	あてはまる
授業回数・試験期間の確保が困難。	213(60.7%)	67(19.1%)	71(20.2%)
一授業時間が長すぎる。	330(94.0%)	13(3.7%)	8(2.3%)
在学生の外国留学・留学生の受け入れに障害。	274(78.5%)	41(11.7%)	34(9.7%)

問5 現行の学事暦・授業時間をどのように評価されますか。

	そう思わない	ある程度 そう思う	そう思う
授業回数・試験期間の確保が困難。	170(34.7%)	232(47.3%)	88(18.0%)
一授業時間が長すぎる。	373(76.1%)	61(12.4%)	56(11.4%)
在学生の外国留学・留学生の受け入れに障害。	289(59.0%)	146(29.8%)	55(11.2%)

他に問題があると考えられることがあれば、具体的に記入してください。

省略

問6 現行の学事暦・授業時間を変更する予定はありますか。

予定はない	検討の可能性はある	変更を検討中
296(60.4%)	147(30.0%)	47(9.6%)

検討の可能性はある、あるいは検討中の場合、その方向を記入してください。

省略

## <単位制度の実質化への取り組みと課題について>

問7 1学期の履修登録単位数の上限(キャップ)制について伺います[\*]。

上限を設定していますか。設定している場合、それは何単位ですか※1 ※2 ※3。

<全体>

設定していない	54(11.0%)						
設定している・全学共通	248(50.6%)	→	22.6	単位			
学部によって異なる	188(38.4%)	→	24.5	単位 (最大)	から	20.1	単位 (最小)

<学期制別>

2学期制

設定していない	48(10.9%)						
設定している・全学共通	227(51.6%)	→	23.8	単位			
学部によって異なる	165(37.5%)	→	26.1	単位 (最大)	から	21.6	単位 (最小)

3学期制

設定していない	4(40.0%)						
設定している・全学共通	4(40.0%)	→	14.7	単位			
学部によって異なる	2(20.0%)	→	-	単位 (最大)	から	-	単位 (最小)

4学期制

設定していない	1(2.6%)						
設定している・全学共通	17(43.6%)	→	9.3	単位			
学部によって異なる	21(53.8%)	→	11.6	単位 (最大)	から	8.7	単位 (最小)

5学期制

設定していない	1(100.0%)						
設定している・全学共通	-	→	-	単位			
学部によって異なる	-	→	-	単位 (最大)	から	-	単位 (最小)

※1 複数条件を添えて回答してきた場合は、回答の平均値による。学年により異なる場合は全学年の平均値による。

※2 最大値と最小値に矛盾がある場合は無効として集計。

※3 回答された値と学期数を掛け合わせた場合に、以下の値を超えた場合は年間の値が回答されていると見なして学期数で割った数に変更し、集計。

- ・全学共通の場合 70 単位
- ・学部によって異なる場合 最大：80 単位 最小：60 単位

どのように運用していますか。またそれは有効ですか[\*]。

	行っていない	行っているが有効ではない	有効
履修登録時に、登録システムなどで警告・制限	41(9.4%)	14(3.2%)	381(87.4%)
上限を越す場合には担当教員・職員による許可	243(55.7)	10(2.3%)	183(42.0%)

履修登録単位数の上制限についての実効性をどう考えますか〔\*〕。

	そう思わない	ある程度 そう思う	そう思う
上限の単位数が多すぎる。	319(73.2%)	96(22.0%)	21(4.8)
例外の基準が緩い。	361(82.8%)	64(14.7%)	11(2.5%)
キャップの対象外の授業が多い。	346(79.4%)	77(17.7%)	13(3.0%)
就職活動期間の長期化で厳格な適用が難しくなっている。	372(85.3%)	53(12.2%)	11(2.5%)

履修登録単位数の上制限について、補足する点があればご記入ください。

省略

## 問8 週あたり複数回の授業について伺います。

カリキュラム上で複数回授業がありますか。ある場合は、全科目に占める割合を併せてお答えください。

	ない	ある・ 全体の1割未満	ある・ 1割以上
講義	243(49.6%)	186(38.0%)	61(12.4%)
講義と他形式との組み合わせ	344(70.2%)	103(21.0%)	43(8.8%)
演習	232(47.3%)	185(37.8%)	73(14.9%)
実験・実習・実技	205(41.8%)	175(35.7%)	110(22.4%)
外国語科目	268(54.7%)	153(31.2%)	69(14.1%)

複数回の授業が普及しない理由についてどう考えますか。

	そう 思わない	ある程度 そう思う	そう思う
大きな教育効果が期待できない。	368(75.1%)	101(20.6%)	21(4.3%)
教員から積極的な協力を得られない。	254(51.8%)	198(40.4%)	38(7.8%)
時間割を組みにくい・教室の手配が困難。	85(17.3%)	179(36.5%)	226(46.1%)

週複数回授業について、補足する点があればご記入ください。

省略

## 問9 科目数を整理して、個々の科目への集中度をたかめ、学習の高密度化を図る必要が指摘されてきています。この点について以下の質問にお答えください。

	そう 思わない	ある程度 そう思う	そう思う
現在のカリキュラムでの科目数は多すぎる。	111(22.7%)	237(48.4%)	142(29.0%)
科目数の整理に、教員の協力を得にくい。	167(34.1%)	232(47.3%)	91(18.6%)
カリキュラム全体として獲得させるべき知識・技能について、教員間の合意が不十分。	167(34.1%)	250(51.0%)	73(14.9%)

問 10 成績分布の標準化(優・A の制限など)、GPA の算出は行っていますか。

	行っていない	一部の学部・学科で行っている	全学で行っている
成績分布の標準化	282(57.6%)	36(7.3%)	172(35.1%)
GPA の算出	10(2.0%)	11(2.2%)	469(95.7%)

問 11 授業・学習状況の把握をどのように行っていますか。また実施している場合、それをどのように使っていますか。

授業の実態把握をどのように行っていますか。

	実施しているか			集計結果をどのように使っているか (当てはまるもの全てをチェック)※		
	実施していない	各学部別に実施	全学共通で実施	教務委員会などに報告	一般教員に報告	ウェブなどで公開
学生による授業評価の集計	5 (1.0%)	52 (10.6%)	433 (88.4%)	388 (79.2%)	331 (67.6%)	403 (82.2%)
科目の履修登録状況の集計・分析	174 (35.5%)	76 (15.5%)	240 (49.0%)	268 (54.7%)	58 (11.8%)	170 (34.7%)
学生の学習行動・教室外での学習時間の調査・分析	79 (16.1%)	33 (6.7%)	378 (77.1%)	344 (70.2%)	246 (50.2%)	285 (58.2%)

※「どのように使っているか」のセルに入っている割合は、調査に協力した全 490 大学を分母とした数値。

授業・学習の実態把握とその理由について、補足する点があればご記入ください。

省略

問 12 単位制度の実質化に対する障害として、以下のような点をどう考えますか。

	そう思わない	ある程度そう思う	そう思う
教員が、一単位に要する、教室外での学習時間を明確に意識していない。	174(35.5%)	265(54.1%)	51(10.4%)
就職活動期間の長期化が、単位の実質化に大きな障害となっている。	271(55.3%)	186(38.0%)	33(6.7%)
個々の教員の専門からの発想と、学生が獲得すべき知識・技能との間に乖離がある。	228(46.5%)	237(48.4%)	25(5.1%)
アクティブラーニングが、必ずしも基礎的な知識・技能の獲得に結びついていない。	302(61.6%)	170(34.7%)	18(3.7%)
シラバスが学生の履修のガイドとして役立つようなものになっていない。	353(72.0%)	120(24.5%)	17(3.5%)
教員がゼミ・研究室を重視するために、通常の授業の強化が十分でない。	442(90.2%)	44(9.0%)	4(0.8%)

**<設置基準・柔軟化への対応について>**

問 13 設置基準の改正(2022年10月)は、大学教育に柔軟性をもたせるものとされています。貴大学ではこの改正を機にどのような改革を考えていますか。項目別にあてはまるものを選んでください。

	導入する見込みはない	導入の可能性を含めて検討中	導入済み
授業科目別の単位数の見直し	234(47.8%)	226(46.1%)	30(6.1%)
授業期間・授業時間の見直し	226(46.1%)	218(44.5%)	46(9.4%)
遠隔方法を用いた授業のガイドライン	135(27.6%)	194(39.6%)	161(32.9%)
授業での「指導補助者」の導入	175(35.7%)	177(36.1%)	138(28.2%)
卒業要件の明確化、4年未満の卒業	294(60.0%)	117(23.9%)	79(16.1%)
「基幹教員」の設定	132(26.9%)	338(69.0%)	20(4.1%)
校地・校舎・設備の変更	340(69.4%)	120(24.5%)	30(6.1%)
教育課程等特例制度の利用	367(74.9%)	121(24.7%)	2(0.4%)

問 14 設置基準の改正と、それへの大学としての対応に関する以下のような意見についてどう考えますか。

	そう 思わない	ある程度 そう思う	そう思う
設置基準によって規定されている授業時間、試験期間の最低基準が具体的に明確ではない。	215(43.9%)	216(44.1%)	59(12.0%)
設置基準の改正で許容される変更の範囲が明確ではない。	167(34.1%)	262(53.5%)	61(12.4%)
可能な変更の範囲が明確でないために、具体的な改革案を検討しにくい。	176(35.9%)	261(53.3%)	53(10.8%)
設置基準とその改正について、一般教員に対する説明が難しく、改革の障害になっている。	191(39.0%)	232(47.3%)	67(13.7%)
競争的資金の増加、大学間の競争によって、教学関係のデータを公開して議論することが難しくなっている。	290(59.2%)	177(36.1%)	23(4.7%)



問 15 大学教育改革の現状、大学行政に関する以下のような意見についてどう考えますか。

	そう 思わない	ある程度 そう思う	そう思う
18歳人口減少による学内の危機感が高まっている。	9(1.8%)	151(30.8%)	330(67.3%)
補助金の対象、KPI(達成度指標)などが詳細に設定されているために、細部の対応に振り回されている。	60(12.2%)	238(48.6%)	192(39.2%)
教職員の危機感を具体的な改革に結びつけるのが困難。	88(18.0%)	295(60.2%)	107(21.8%)
大学教育の質的な改善に努力しても、それを社会的な評価と結びつけることが難しい。	66(13.5%)	272(55.5%)	152(31.0%)
国内外の大学との単位互換に必要な規則、単位の記述の標準化、外国語化が十分ではない。	74(15.1%)	249(50.8%)	167(34.1%)
質的な改革を通じて、全国的に大学進学率を高めることが望ましい。	75(15.3%)	246(50.2%)	169(34.5%)

問16 この調査、大学教育改革、認証評価のあり方などについて、ご意見をお書きください。

(※記述式回答のため省略)

以上